

■サイン計画の考え方

○基本方針

- 「バリアフリー法」及び「山口県福祉のまちづくり条例」の基準を満たす、高齢者や障がい者、外国人など、誰にとってもわかりやすいサイン計画とします。
- 誰もが安心して利用できる庁舎となるよう、点字や外国語を併記したサインを計画します。
- 周辺環境は内装との調和に配慮しつつ、効果的な色彩計画を心がけます。この場合、色覚障がい者にも配慮し、必要に応じて文字等で補足するなど「カラーバリアフリーガイド（山口県）」に沿った計画とします。
- 子供や日本語に不慣れな方でも直感的に理解できるよう、数字、アルファベットやピクトグラムなどを効果的に使用します。また、課の名称等の必要な情報は外国語を併記します。

サイン計画の2つの考え方
サイン計画と空間の最適化を図ります

誰にとってもわかりやすい
障がい者・高齢者・外国人にもわかりやすく

可変性・更新性
時代やニーズの変化に対応できる可変性・更新性



わかりやすい案内記号イメージ



外国語を併記した案内記号イメージ

1) 建物内のサイン

- 庁舎と立体駐車場の内部のサインについて、連続性を持った一体的なサイン計画とします。
- サイン表示は廻りの壁面と異なる色彩をベースに用い、白抜き文字などにすることで見つけやすく、読みやすいサインとします。
- カウンター上部のサインについては、行政用語ではなく、来庁者の目的をそのまま記した用件別表記とします。
- 将来の組織改編に対応するため、表示が容易に更新できる仕様とするなど、メンテナンス性に配慮したサインを検討します。
- 現在地を示す位置サイン、目的地への方向を示す誘導サイン等を来庁者の動線上の効果的な位置に配置します。また、自分のいるフロアが何階なのかわかりやすいサイン計画とします。
- 庁舎の平面計画は基本的に南北に対称な計画であることから、自分のいる位置が北か、南か把握できるようわかりやすいサインとします。
- デジタルサイネージ等の活用を検討します。

市民課
Civic Section

引っ越しのこと 転入・転出など

組織改革時に変更する箇所

組織改革で課名を変更しても表記内容が変わらない箇所

マグネットシートを使用したメンテナンスが容易なサインの例

カウンター上部のサインのイメージ

高齢者や車いすの利用者が見えやすいような高さ

サインの設置高さに配慮

2) 建物外のサイン

- 建物外のサインについても、庁舎、立体駐車場だけでなく、広場も含めた一体的なサイン計画とし、敷地全体での統一感を創出します。
- 各建物配置と現在地の位置情報を示す総合案内サインを、来庁者の動線、目線に配慮し、見やすく、わかりやすい場所に効果的に配置します。



敷地全体の案内イメージ

免震構造物

この建物は、地盤と絶縁された免震構造建物です。地震時には左右にゆっくり揺れるため、一般の建物に比べ揺れに対する恐怖感大幅に軽減されます。

以下のご注意に留意して建物を使用してください。

- 大地震時には地盤と建物が最大30cmずれることがあります。
- 建物周辺には、この動きを妨げるような物を置かないでください。
- 出入口や建物周囲では、この動きにより人がけがをしないよう十分ご注意ください。
- 設備配管・配線等を行う場合は、建物の動きに追従できるようにしてください。

免震構造のサインイメージ



動線上に配置する誘導サインのイメージ



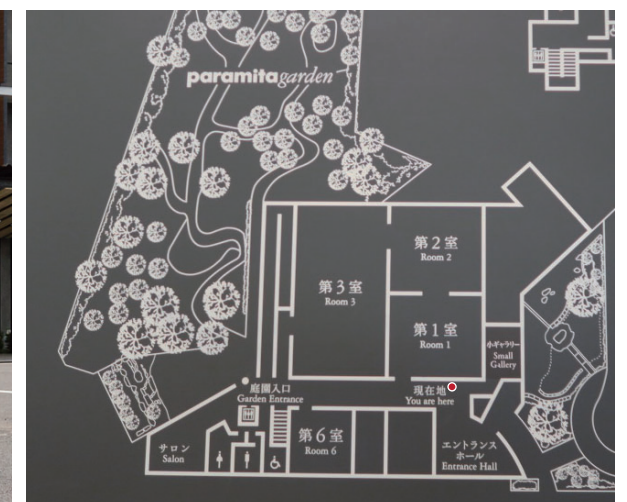
フロア案内のサインイメージ



エレベーター内でも方角が分かるサインイメージ



思いやり駐車場のサインイメージ



現在地を表すサインイメージ